

D 地域振興

要望

本文28項目からの抜粋

- 1 大平田地区の上下水道の整備
- 2 大平田、上諏訪集会所の冷暖房、トイレ改修
- 3 上諏訪、向山、鮎川台の防災避難場所の整備
軽スポーツ広場、倉庫、トイレ、東屋の設置
- 4 諏訪梅林の横断歩道、信号機の設置
- 5 大平田、滝平、北の沢、かみすわ山荘、諏訪ダム周辺の地域生活道路の整備
- 6 鮎川及び周辺の整備
 - ・水穴、諏訪梅林の浚渫、魚道工事
 - ・諏訪ダムから鮎川までの整備
 - ・西田橋から諏訪梅林までの遊歩道の整備
 - ・梅林とかみすわ山荘にホタルの生息地の設置
 - ・上流の川に降りるための梯子と監視カメラの設置
- 7 諏訪梅林の整備
 - ・遊歩道、トイレ、駐車場、樹木、管理棟、不法投棄防止、自転車道、水質モニター、連絡橋の整備
- 8 かみすわ山荘の整備
 - ・駐車場、運動場、バーベキュー施設の整備改修
- 9 諏訪小運動場の整備
 - ・暗渠排水施設の改修
 - ・グランド海側法面の整備、草刈り作業車の設置
 - ・学校下交差点の信号機の改良(歩行者、車分離信号)
- 10 コミュニティ活動の助成
 - ・諏訪乗合タクシー事業の助成

本文の中には、梅友会、鮎川をきれいにする会、大平田からの要望もあります

遊歩道イメージ



きつねのカミソリ
曼殊沙華の珍しい品種
諏訪梅林に群衆している

諏訪の水穴

A・B・C・Dの共通の願い

- | | |
|---|--|
| ①コンプライアンスの体制確立 | ④自然を畏れる設計思想 |
| ②住民意見の尊重 <ul style="list-style-type: none">・住民参画による監視・協定締結と実効的活動 | ⑤末代迄の安全安心を固く約束する |
| ③全ての情報の公開と説明 <ul style="list-style-type: none">・双方向コミュニケーション・透明な運営候補地・指定から終了まで | ⑥責任所在の明確化 |
| | ⑦BCPの策定と関係者共有 <ul style="list-style-type: none">※BCP・・・事業継続計画重要な業務を継続する |

編集後記

今回は1年4か月を総括しました。諏訪学区はこれから最も影響を受けますので大事な今はこれからです。造るのであれば、自然環境や生活環境と調和した安全安心な施設や道路となり、住民生活の不安が解消されるよう、今後も協議や監視が必要です。それは期せずして、何でも行政任せや丸投げにするのでない私たち一人一人の意識の高さや郷土愛を自らに問う機会でもあります。

「ある町の高い煙突」の大煙突建設と桜並木は、企業活動と自然環境、住民環境が両立、共存した貴重な歴史の1コマです。

造るのであれば、私たち諏訪学区住民も当時の入四間村の方々に倣い、行政(県、市)、施設管理者(事業団)、立法(議会)と科学的知見に基づいた誠実な議論を重ね、後世に恥じない責任を果たしたいものです。



かんきょう 言取言方

第6号 令和3年10月20日

諏訪学区環境保全委員会
発行 総務広報部会

kankyosuw@gmail.com

はじめに

小川春樹日立市長の産廃建設受け入れ表明を踏まえ、県の基本計画策定委員会が始まりました。住民生活の安全安心には建設や稼働に伴う諏訪学区のマイナス影響を限りなくゼロに近づけることが不可欠です。
そこで今回は、この1年4か月の間、県に意見、提案、要望してきた、A信頼醸成、B道路・交通安全、C施設・環境衛生、D地域振興の125項目のうち、主な内容を改めて整理してご紹介します。

A 信頼醸成

本文34項目からの抜粋

意見・提案

- 1 3Rの強力な推進による産廃排出の抑制や低減
 - ・笠間の埋立処分場や中間処理施設を延命する
 - ・中間処理を設置しない前提で排出重心を算出する
 - 2 処分場の建設
 - ・環境影響が大きいので環境アセスを実施する
 - ・関連費を含めた整備費の追加評価をする
 - ・入札は透明性と発注先を厳選する
 - ・工事の様子をライブ配信する
 - ・安全安心を保証する
 - ・運用期間を住民協定に明記する
 - ・竣工検査や検収をする
 - 3 コンプライアンス体制の確立(法令遵守)
 - ・運営の透明性を確保する
 - ・基本計画策定委員会を公開し、参画させる
 - ・地域と共生した健全な運営をする
 - ・リスクを洗い出し、対応方法を関係者間で共有する
- ※ コンプライアンス・・・法令・モラルを守ること
健全な組織を構築すること

環境アセスとは
事業による環境への
影響をあらかじめ予測
して対策をおこなうこと

要望

最終処分場設置に伴う地域振興並びに環境保全に関する地域代表を含めた四者協定の締結

- 1 事前審査要領に定められた「事業計画概要書」と「立地調書」を公開する
- 2 事前審査要領に従い地域住民の合意形成をする
- 3 健全な処分場経営をする

C 施設・環境衛生

意見・提案

本文54項目からの抜粋

- 1 生活、緊急時、川遊びの問題点
 - ・井戸水の水質水量に影響がないか
 - ・豪雨で汚染物質が鮎川に流れないか
 - ・梅林で遊んでいる子ども達の健康被害がないか
 - ・臭い、粉塵、騒音、感染性廃棄物がないか
- 2 処分場の設計は安全最優先に考えて下さい
 - ・遮水システム(表面遮水工、漏水検知設備、鉛直遮水工)
最新の知見を踏まえた構造を希望
 - ・搬入物や浸出水を監視願います
 - ・鮎川に流出する廃水についての対策
 - ・豪雨等各種ハザードとリスクを分析し、公表願いたい
 - ・臭気・粉塵等の飛散防止をして下さい
 - ・放射性廃棄物を受け入れないで下さい
- 3 処分場設置による環境への影響
 - ・地盤状況、生物の多様性、工事の影響等の追加調査、
予測及び評価をお願いします

要望

- 1 激甚災害の想定と対策を考慮した処分場の形態にすること
 - ・処分場の形態(オープン/クローズド)は結論ありきでなく
検討し、結果を公表して下さい
 - ・長期停電と強雨重畳したときの対策
 - ・遮水シート、漏水検知設備の耐久性を証明
- 2 中間処理施設は設置しないこと(近隣民間施設を含む)
 - ・処理済の廃棄物のみ搬入・埋立
- 3 環境アセスメントを着工前に実施すること

B 道路・交通安全

意見・提案

本文9項目からの抜粋

- 1 梅林通りは生活道路。生活環境の悪化が心配
 - ・大型ダンプ通過時に風圧、飛び石、騒音、振動がある
 - ・粉塵が家の中まで入り洗濯物を干せない
 - ・排気ガスが増える(のどの炎症、喘息、呼吸器疾患発生)
 - ・油縄子交差点から上諏訪橋までは諏訪神社の表参道
 - ・油縄子交差点は今も渋滞。梅林通りは道幅も路肩も狭く危険
 - ・通行禁止区域を作る
- 2 工事や搬入車両による交通量や交通事故が心配
 - ・児童の登下校や園児の送迎、通勤時
 - ・中高生が諏訪スポーツ広場に自転車で通る時
 - ・住民が自動車で私道から梅林通りに出る時
 - ・高齢者が車いすや乗り合いタクシーを使う時
- 3 県が想定している県道37号線
 - ・住民としてこのルートで毎日トラック100台はあり得ない
 - ・トラック事故があったら緊急車両が通れない
 - ・10tトラックが毎日通ったら怖くて散歩もできない
 - ・山側に新しい道路を作り諏訪町を通らせない
 - ・常陸太田側は急カーブが多く危険

要望

- 1 梅林通りは通らない(心配ごとを増やさない)
- 2 直接、新処分場へアクセス出来るルートを構築する
- 3 交通量の変化と安全の具体策を示す(台数や時間帯)

現在の産廃候補地のようす